

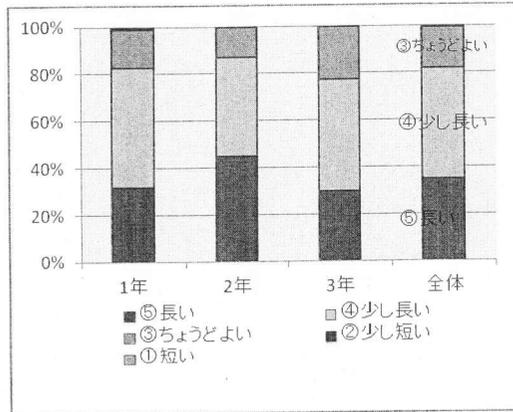
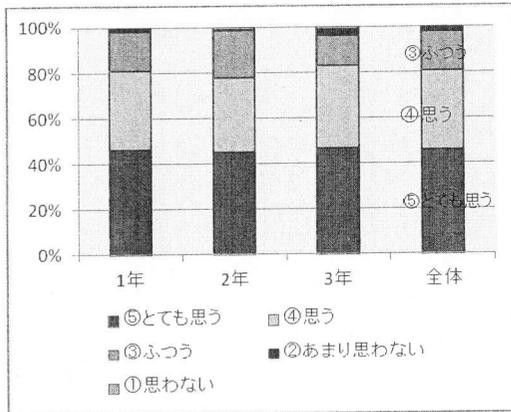
防災講演会アンケート結果

生徒アンケート 787人集計

(2012年12月10日実施)

1 今回の講演は自分のためになったか
全体の80%が「とても思う」または「思う」と答えた。

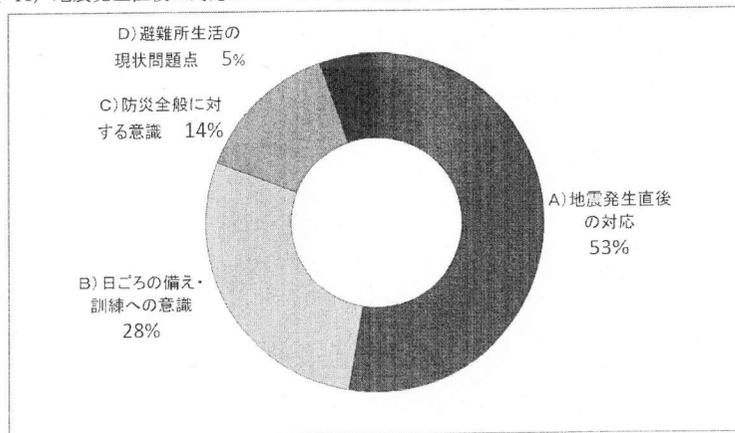
2 講演の長さについて
全体の82%が「長い」または「少し長い」と答えた。



3 講演の要点

各自が箇条書きでまとめたものを、A) 地震発生直後の対応、B) 日ごろの備え・訓練の意識、C) 防災全般に対する意識、D) 避難所生活の現状や問題点 の4つに分類した。

結果、A) 地震発生直後の対応について学んだ生徒が多かった。



A) 地震発生直後の対応

項目	%	総合順位
頭を守ることは、意識を失わないためである	41%	1
自分の命は自分で守る（自分の安全を第一に考える）	37%	2
隠れる場所を探す、揺れの間は声を出す、周りをよく見る	35%	4
平常心（冷静に次の行動へ移るために自分を見失わない）	10%	11
生きる（とくにかく生き延びる）、よく生きる、より良く生きる（けがをしない）	7%	
とにかく高台へ逃げる	7%	

B) 日ごろの備え・訓練の意識

防災訓練への意識向上（訓練にやりすぎはない、価値ある無駄）	36%	3
備えの必要性（起震車体験、逃げるための体力、食料や水の備蓄、情報など）	29%	5
避難場所の確認（家族との約束、ルート確認、登下校時も含む）	21%	6
想像力（シュミレーション）が減災につながる	13%	9
重いものは2階におかない（家具が人を殺す）	13%	9
防災知識の必要性（無知や無関心の怖さ、正しく恐れる）	10%	11

C) 防災全般に対する意識

いつ、どこで起きてもおかしくない（安全な場所はない）という危機感	20%	7
災害に関心をもつことの重要性	16%	8
過去の記録や他者の経験に学び、自身も後世に伝承すること	8%	

D) 避難所生活の現状や問題点

トイレのことを考える（衛生面の管理）	7%	
気配り、目配り、心配りをする（ボランティア活動と治安の維持）	6%	

【総括】

今回の防災講演について、生徒の80%が有意義であったと答え、地震直後にとるべき行動や日ごろからの避難訓練や備蓄品などの見直しを図ることなど防災意識の向上が見られた。

今後の課題として、登下校時の経路も含め避難場所を想定したい、避難訓練をより実践的にやりたいという意見が多かった。特に、訓練には、起震車体験、逃げるための体力、情報の収集が必要であると考えているようである。また、避難所生活の現状や問題点を初めて知った生徒が多かった。

なお、講演時間を長く感じたのは、講演内容や実時間よりも寒さによる部分が大きかったと思われるので、講演の実施時期を検討してゆくことが必要である。

土居さんが家を建てる時に、必ず毎日東さんに
"もし地震が起きたら一人で逃げろよ"と念をおしてあげてほしいこと
を、本当にいつおきるかわからないで、いつ自分の家族にそんなこと
なってしまうのかと物々しいと不安を感じました。(3年女子)

今回の講演会で第1に自分の命を守る事の大切さを学びました
自分は春から一人暮らしをするので、しっかり自分の身を守りたいと
思いました。(3年女子)

汚物の写真がすごくやだだったので、自分家には水と、
簡易トイレを用意して、おまきやおぼろぎなど、自分たちの
ものは自分たちで準備しときたいと思いました。後、家族が
別々なときの連絡とかについても、どこに逃げるかなども、
話し合いたいと思いました。(3年女子)

すごいリアルな内容の講演会でした。避難所にはプライバシーがない、
食料もトイレ、逃げた人が助からなかった、現実的で、
準備する必要があると強く感じました。(3年女子)

私が地域の防災訓練に参加し、別の方の講演を聞いたものとは比
べて、「正しく恐れる」という点が同じであり、これは大切な事だと思
いました。精神面、行動面など、教わることは多く、様々な方の講
演を合わせてより自分にならなくてはいけないものだと感じました。
まずは、自分の命を救うためにも、家の中の物を見直し、家族で
話し合っていきたいと思えます。(3年女子)

地域をまきこんで防災訓練を行っていかねば
ならないと思いました。
普段は西高の中で防災訓練を行うことが多いので、
近くの保育園、幼小、中とも一緒にやっていくのは体制
がわりが必要ではなんでしょうか。(3年女子)

今回の講演を聞いて、一番に思っていることは、
"知っていることで、できることはちがう"ということだ
知っているから、できることをとらえていくと、(1)ということ、
うごけないだろうと思いました。
実践する大切さを学びました。(3年女子)

感想 3

土曜日からいよいよ起った。東日本沿岸の地震の時、僕は家でゴロゴロして、
テレビをつけて地震が来たら、津波の注意を耳にかけていました。その時、大丈夫かなと軌道
を聞いてあげて、話を聞いて、自分にも、災害が来るかわからないから、さっさと
逃げよう。(3年男子)

私の次のスラップは大学で看護を学びます。
災害看護に興味をもっていたので、とても今日の講演はた
りませんでした。やはり興味、関心を抱いていても、行動に
移すことができてなかったの、これを機会にしていきます。(3年女子)

自分たちが報道などで聞いて、想像する以上に現場には悲惨なことが知らぬ
心あり、体験した人々に聞くたびに聞く必要があると思った。
(3年男子)

しっかりと災害に対して関心を持ち、周囲の人と話し合いをしておくことが
大切なことと感じた。災害時に、生き残る役に立つような人であるため
に知識と技術を身につけたらと思う。(3年女子)

まずは、自分の意識の低さを実感しました。私も人と一緒に逃げようとか
思っていた所もあって、まずは自分が生きるといことが大切だと気付きました。
"どこで地震がおきるのか、それは通学時かもしれない"と言われ、気付かされました。
私も通学時におきた時、またそれ以外の時どこに逃げればいいのか、考え
調べ、知っておくと思いました。また、避難所等のトイレがとても汚いのに驚きました。
考えれば当たり前ですが、水もないので、皆でトイレを決めることが、どんなに一人一人の
気持ちにかかわるかも気づかされました。
(3年女子)